

# ばってん

事務長会報第54号

令和5年10月1日

長崎県公立学校事務長会  
長崎県立長崎北高等学校内

〒851-1132

長崎市小江原1-1-1

電話 (095) 844-4411

## 全国大会開催に向けて

長崎県公立学校事務長会事務局長（長崎工業高校）

安田 誠



6月16日に開催された全国事務長会地区代表者会・全国理事会に早田会長と出席した。通常、各県の会長さんだけが招集されるが、令和6年の全国事務長会長崎大会を控え、事務局担当者の私にも出席依頼があった。旅費も全国本部にご負担いただけ

るとのこと。コロナ明けで、堰を切ったかのように旅費予算の支出が増えている中、ありがたく東京へ「お上り」した。

会場は、東京駅横のオフィスビルである。宿泊先から東京駅まで、ややピーク時からずれていたが、山手線通勤ラッシュの洗礼を受けた。あんなに人から押されたことあるかな。「おしくらまんじゅう」をした記憶など、何十年も前に消去した身にとっては、毎日のあれは三日ももたないだろう。渋滞があるとは言え、車通勤ができる幸せに感謝しつつ、会場へ到着した。

会場で初めて会議資料をいただいたのだが、資料の一番最後に「ばってん」の最新号が同封されていた。以前から、全国本部へ配布していることは知っていたが、このような形で全国の各会長さんへ配布されているとは、思ってもみなかった。他県の会報誌は、他に見当たらなかったから、このような会報誌は、長崎だけかな？なんて考えながら、配布資料にざーっと目を通した。長崎弁で言うところの「ざーっと」目を通しただけだったから、会議進行シナリオに自分の役目があるのに気付くのが遅れた。

「やば、オイがなんか言わんばやん。」出張前から、おそらく令和6年の長崎大会について、何らかの概要説明の場はあると思っていたが、てっきり早田会長の役目と思い込んでいた。早田さんともそう打ち合わせていた。今回のお招きも、全国大会時に開催する全国理事会の模様を「お勉強」するつもりだった。進行シナリオ最後に第48回大会の日程及び内容説明の議案があった。担当、安田総務と記載されている。他の資料から全国本部の名簿を確認すると、関東の事務長さん方と並んで自分の名前が記載されて

いる。職名は「総務（地区大会担当）」。

やっと、自分の役目を理解した。どうりで私の席は、全国の理事さん側ではなく、全国本部側の端っこにあったわけだ。

理事会で、ある理事さんが、全国公立学校事務長会の存在意義についての意見を述べられた。公費を使って会に参加する以上、学校現場や子供たちにどのように還元できるのか。また、公費を使う意義を自治体財政担当にどう説明できるのか。「会」を否定しているのではなく、そのような「会」であるべきといった趣旨だった。全国から異なる自治体、校種の「事務長」が意見を交換し、情報・経験を共有しあうことで、教育環境・学校・事務室運営のより良い改善、質の向上をはかる。他の都道府県の実践事例を自らの学校に活かすヒントがある。その思いでわざわざ日本の西の端っこへお越しになるのだ。言わば事務長のインターハイだ。長崎大会をそんな意義のある会にしないといけない。そう強く感じさせられるご意見だった。ただ、私の中のハードルはどんどん上がって、もう棒高跳びになった。

幸いにも出島メッセのある長崎駅前周辺は、百年に一度の大変革中である。このタイミングで、本県が開催県となるのも運がよかったかもしれない。きっと長崎の魅力を発信するプロモーションが各メディアで活発に行われ、長崎に行ってみたいと思う人が増えるのではないかと密かに期待している。せっかくなら、全国事務長会で知られている「ばってん」の名を冠した大会にするのはどうだろうか。「第48回全国公立学校事務長会ばってん長崎大会」-リモートもよかばってん、集まっとがよかね大会-

無理っばい（笑）少なくとも「長崎まで行ったばってん・・・」なんて感想を持たれないようにしなくてはならない。

ほどなく全国理事会で長崎大会の日程、場所を公表した。さあ、皆さん、もう後には引けません。「やるバイ！なんとか宣言」です。やるなら、素晴らしい大会にしていきたいと思います。

## 敢えて辛くて苦い経験談

鳴滝高等学校 吉田 和弘



本誌への執筆は、県教委の頃に一度、今回が二度目になります。これが最後かと思うと寂しくなりますが、貴重な機会を与えていただき感謝申し上げます。

思い出話等というお題でしたので、37年間

には、鹿町・五島・佐世保中央の3校同時全面改築、大きすぎた体育館、予算担当、クライミングウォール、不適切な物品購入対応、フッ化物洗口、食物アレルギー対策、性教育、新県立図書館オープン等々、多々ありますが、自分としては忘れがたい、行政という厳しい立場を身をもって実感する転機となったことがあります。少し大げさに聞こえるかもしれませんが、その辛くて苦い経験を踏まえ、これまでなんとかやってこられたという感謝の意を先輩方へ表すためにも「敢えて辛くて苦い経験談」を書かせていただきます。

最も辛く危機的な状況に陥ったのは、約20数年前、国の会計検査院の現地検査の際に補助金返還の指摘を受けた

ときでした。不正ということではなく、国の補助金の対象経費の算定上の解釈の問題でした。そのことは前任者からも引継があり、当時の国の担当者に数年前から何度も確認し、逐次、口頭受理簿も確実に残しながら丁寧に進めていきましたが、指摘されたらとんに国は見解を翻しました。到底受け入れ難く、私は、この不条理にひどく落ち込み「自主退職」という言葉すら脳裏をよぎっていました。

しかし、私の上司は絶対に引き下がりませんでした。数年にわたり何度も国へ出向き粘り強く説明して下さった結果、国からの連絡はなくなり危機を脱することができました。

こと県庁では理不尽なことがありがちとイメージされるかもしれませんが、安心して下さい。決してそんなことはなく、まだまだ気骨のある方々がいます。多くの理不尽は人によってつくられるものである以上、同じく人の力で跳ね返すことも可能と信じています。

働き方改革等の課題解決に向けても同じで、その現状をつくったのは人であり組織なので、それを変えることも可能なはずで。先般、新任事務長研修会でお話させていただきましたが、「しがらみのない事務室」としてできることがきっとあるはずで。皆様には、ぜひともそれを期待しています。なんとも歯切れの悪い文章となったことをお許しください。

来年の桜の咲く頃には、鳴滝高校に別れを告げることにありますが、最後まで学校のために、その職責を果たしてまいりたいと思います。

## どうなる？ どうする？

諫早商業高等学校 中尾 洋子

昭和の最後の日、私は三学期までの任期で某小学校の育児講師をしていました。教育学部卒ですが、自分には向いていないと感じたので、教員にはなりません。学校事務職員に合格した後、3月中旬に縁もゆかりも無い対馬の小学校の校長さんから電話をいただいた時、「これから先いったいどうなる？」と思ったのを今でも鮮明に覚えています。あれは間違いなく私の人生の転機でした。

平成元年4月、私は小中学校の同期の5人と共に対馬で学校事務職員としてスタートを切りました。2年後に転勤される校長さんから、「実のところあなたはすぐに帰ってしまうだろうと思った。」と打ち明けられました。まさか6年間も対馬で勤務するとは、自分でも思っていませんでした。あの頃の「同期」の存在は本当にありがたいものでした。

安徳天皇伝説のある由緒正しき内院地区の小中学校（既に閉校）と、かつて亜鉛鉱で栄えた佐須地区にある2校目

の金田小学校。当時でもかなり古い木造とほぼ新築の校舎で、学校の環境が全く違っていました。どちらも地域の方々大変お世話になりました。また、今は無き対馬教育事務所には頻繁に出入りし、指導主事の先生方にも何かとご指導いただきました。対馬で出会った諸先輩、同僚、同期その他すべての方々には、本当に「感謝」しかありません。あの濃い6年間があったからこそ、私は35年も事務職員を続けてこられたのだと感じています。

さて、60歳定年のはずでしたが、定年延長が決まりました。両親を見送り、一人暮らしの私は、「定年延長？ どうする？」と、真剣に考えなければなりません。今までポーッと生きてきたので、チョコちゃんに叱られそうですが、この35年間で出会ったすべての皆様への恩返しとして、私なりに事務長としての職務を最後まで果たしたいと思います。



## 赴任して感じたこと

虹の原特別支援学校 外園 利之

新規採用で「ろう学校」に勤務以来、30年振りに学校で勤務をしております。新規採用時は初めての業務ばかりでしたが、まだ気力・体力も充実し、また新採ということで先輩方も温かく寛大な心で、優しく教えていただき、大きな失敗等もなく過ごすことができました。

今回は立場が違い、また新採時に比べ体力等が格段に衰えているのに加え、赴任した虹の原特別支援学校は、県内で一番職員が多い学校で、無事に勤まるかどうか不安でしたが、どうにか3ヶ月乗り切ることができました。

学校に勤務し、数か月が経ちますが、業務のやり方等で不思議に思った事がいくつかありました。

まず、驚いたのが会議や回覧文書の多さです。本校では毎朝管理職が集まり、その日の行事の確認や子供たちの情報共有等を行い、その後、事務室で朝の連絡会を実施、夕



方には運営委員会や企画委員会など数多くの会議が設定されています。最初は何の会議に出席が必要なのかが分からず会議に遅れたこともありました。

また、給与明細の閲覧や振込額の変更申請は、ポータルサイトからではなく、学校では紙ベースで配布等を行っていることも驚きました。

他にも、請求印や受領印などの押印が必要書類がたくさんあることや、週休日に計報の連絡があった場合、学校に出勤し学校のアドレスから計報の登録をしていること。さらには、臨時的任用職員の履歴書を現在も紙で管理していること。照会文書は一旦受付・回覧をした後に担当に渡し、担当は文

書受領後に回答等の対応をしていることなども不思議に思いました。

やり方等を変更するまでには至っていませんが、慣例や前例を踏まえながらも、効率化に向け改善ができるところはないのかといった視点を持ちながら今後も業務を行っていきたいと考えています。

分からない事ばかりで皆様にはご迷惑をおかけすると思いますが、これからもご指導の方よろしくお願ひします。



## ワーケーションを追い求めて

奈留高等学校 近藤 大輔

33.305763, 129.618271 → 32.830044, 128.930522 ≈ 83.2km  
前任校の鹿町工業高校から赴任した奈留高校までの直線距離をグーグルマップで計測するとこの距離になるようです。(数字は緯度・経度です)

実際はその数倍以上の距離を移動しておりますが、異動が決まってから友人達に奈留島へ赴任することを伝えると、大体が福江島と勘違いをし、あとは場所のイメージもわからない人がほとんどでした。

そんな友人の一人に、公舎ベランダからのオーシャンビュー(実際は漁港ビューですが)の写真を送ったところ、理想的なワーケーションの勤務地で羨ましいとの反応がありました。

離島に住んだことのない人間の言うことなので、あんまりよくわかっていないのだろうなあとは思いながらも、過去に福江に住んでいた身からすると、「島感」という表現があるならば、奈留の方が島に来たなあという実感があります。

実際に住んでみると、コンビニもなく、電子マネーも使えない生活というのは現代人には想像だにしない状況に見えますが、昭和生まれの私にとっては、なんだか小学生時代の雰

囲気を味わえる貴重な経験を楽しんでいるところです。

そんな気分で島生活をしていると、何故かいたるところから私に声をかける人がいるので、何かかと思っておりましたら、10年以上前に奈留高校で勤務をされていた知り合いの元事務長さんが島の方々に「今度の事務長をよろしく」とお声がけをいただいていた。

なんとも気恥ずかしい限りですが、思えば奈留高校は私の過去の仕事でもゆかりのある学校であり、これも人の縁のなせる業かと感慨深く思うところです。

飽きっぽい性格の私でもなんとか20数年この仕事を続けてこれましたが、この度事務長職という管理職の立場となり、心機一転、これまでとは違う視点で仕事に励み、友人のいう「ワーケーション」とやらをなんとか体現しながら、奈留島生活を楽しみたいと思っている、今日この頃です。



公舎からのオーシャン(漁港)ビュー



お気に入りの夕日スポット

## コウカノコウカ

口加高等学校 宮本 達也

歓迎遠足に招待されたので、どうしようかと迷ったものの、思い切って参加してみた。そしたら「いやあ、遠足歩く事務長なんて初めて見ましたよ(笑)」って。(おっと、早くも珍獣認定されちゃったか?)と若干の後悔が頭をよぎったものの、その日は天気もよく、山頂の権田公園からは、パノラマのような海岸線の絶景を満喫できた。

さて、昼も過ぎて「これから下山していききたいと思えます。」と担当の先生が促したその時、「ちょっと待ったあ!」と一人の1年生男子が…。「今日は歓迎遠足のお礼に1年生全員で校歌を歌います!」と。この校歌がなかなか元気に歌えているなど感心していたところ…今度は2年生男子の一人が「1年生!声が出てないよ!2年生が見本を見せます!」と…。2年生の校歌はさすがの貫禄。今どきの高校生がこんなに大きな声で校歌を歌うなんて!しかし、ここである心配が頭をよぎる。(これ、もしかして、次3年生?

いや、2年生にこれだけされたら、これ以上はもう無理なのでは?)そんな私の心配をよそに「2年生それでいいのか!次は3年生が歌う!」と…。3年生のは、もはや歌なのか叫んでいるのかわからない(笑)。こうして3年生の魂の叫びが終わって、「最後に先生たちも一緒に全員で歌いましょう!」と。私なんぞは歌詞を完全に覚えていなかったもので、途中「んーんー♪」なんてごまかしたりもしたが、まあこれが、楽しかったわ、感動したわで。生徒234人全員が、晴天の下、山のとっぺんで笑顔で校歌を歌ってる。今まで、こんな学校なかったなあ。

なれない業務と膨大な文書の量に心をすり減らして、ちょっとだけ疲弊していたものの、生徒のみんなにパワーをもらって、どうにか4月を乗り切れた。やっと校歌も覚えたり、来年の遠足はリベンジのため参加すべきかどうかどうしたものか…。3日後に筋肉痛が来るんだよなあ…。





# 事務室の皆さんとの思い出

長崎東中学校・長崎東高等学校 校長 立木 貴文



事務長会の会誌「ばってん」。  
前号の日高前課長の文を拝見しつ  
つ、この枠はご勇退される方が書か  
れるところと思っていました。  
そこに私が書いてよいものかと逡  
巡はありますが、高校時代の事務室  
の方々のことを中心に、事務室の皆  
さんとの私の思い出にお付き合いい  
ただければと思います。

## 高校時代

私の事務室の皆さんとの出会いは、40年余り前。高校時代の長崎東でのことです。

今もかもしれませんが、事務室は高校生が日常的に来室する場所ではありません。私たちの頃も納金袋を持っていったり、学割の申請（五島からの下宿生だったので主に船）に行ったりするくらいでした。にもかかわらず事務室の皆さんと関わりができたのは、3年次の教室が事務室の真上だったことが理由です。

私のクラスは圧倒的に男子が多く、普段から元気な学級でした。休み時間や昼休みの声や踏み鳴らす足音は相当なものだったと思います。そのため、事務室の方が上がって来られて「ちょっと静かにしてくれんね」とお願い（注意？）されることもたびたびでした。

当時より随分おとなしくなった今の生徒の生活音もそれなりのものですから、私たちの“奏でる音”はさぞかし業務を阻害するものだったのでしょうか。今春から事務室に近接する校長室で過ごしていて実感しています。

ただ、そんなやり取りが繰り返されたためか、私たちも事務室の方の顔を覚え、事務室の方も校内であった時には私たちに声をかけてくださるようになりました。

卒業式を控えた頃だったろうと思います。「だいぶ迷惑ばかりかけたけん、最後にあいさつに行こうか」と誰かが言い出し、クラスの男子で事務室に行った記憶があります。その折にどんな言葉をかけてもらったかは忘れましたが、温かい気持ちになって教室に戻ったことは今も記憶に残っています。

## 教師になって

初任校の3年間は、職員室、事務室の別なく、週末に若手職員でよく出かけていたように記憶しています。休日に独身数名で事務室の方のご自宅に伺い、奥様の手料理をご馳走になったこともありました。山岳部の顧問を“させられ”て追いつかない授業の準備を週末のキャンプ場でするような有り様でしたが、それでもまだ学校や教職員に余裕があった頃なのかもしれません。

2校目の6年間、3校目の5年間は、大半が教務部だっ

たこともあり、事務室には足繁く通っていました。

特に3校目では、高校も生徒募集や広報に力を入れねばならなくなった頃で、「学校説明会を校外でも実施したい」、「説明会でクリアファイルを配りたい」など、思いつくままに事務室にアイデアを持ち込んでいました。限りある予算から会場費や購入費などを工面してくださっていたのでしようけれど、すべてを実現してくださる事務室の皆さんに、その頃の私は「事務室には“打ち出の小槌”がある」と半ば信じていたように思います。

今も各学校で教員は「相談すれば何とかしてくれる」と事務室の皆さんを困らせているのかもしれませんが。昨今の厳しい財政状況の中では“打ち出の小槌”も小さくなる一方かと思いますが、厳しく優しく相談にのっていただければありがたく思います。

## 教育行政、管理職の今

行政に身を置き、“予算を立てる”ことを一から教えてもらいました（中村宏平事務長が私の“師匠”でした）。同時に何度か予算折衝に同席して、予算獲得の難しさも直に体感しました。本校の草野事務局長はじめ多くの皆さんと縁をいただいたのもこの頃でした。

管理職となった今は、言うまでもありません。予算はもちろんのこと、施設・設備の管理、時には校地の除草を含めた環境整備と、限られた職員で実に多くのことをしていただいています。

感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

締切を大きく過ぎて、校長室で原稿を整えていると、今日もまたチャイムとともに階上の生徒のにぎやかな声や足音が響いてきます。



当時の事務室の皆さん（卒業アルバムより）

## 編集後記

今回の「ばってん54号」には、立木校長会会長様をはじめ、安田事務長会事務局長、還暦を迎えられた吉田事務局長、中尾事務長のほか、新任事務長として就任されました3名の皆様にご寄稿いただきました。御多用の中、快く執筆をお引き受けいただき、感謝申し上げます。お陰様で、無事に会報を発行することができました。

全国事務長会長崎大会開催まで残すところあと一年、コロナ対策の制限も解除され、行事や会議も対面での開催が戻ってまいりました。4年前はどうしていたのかなと古いファイルを引っ張り出して見てはいますが、この際新たな枠組でリセットしてスタートしてもいいのではと思い、会議や行事の見直しにチャレンジしている今日この頃です。（E・K）